

## ➤ 13日 木曜

### ヨシュア

2:15 そこで、ラハブは綱で窓から彼らをつり降ろした。彼女の家は城壁に建て込まれていて、彼女はその城壁の中に住んでいた。

2:16 彼女は二人に言った。「山地の方へ行ってください。追っ手たちがあなたがたに出くわすといけませんから。彼らが引き揚げるまで、三日間そこに身を隠してください。その後で、あなたがたが行く道を行かれたらよいでしょう。」

2:17 二人は彼女に言った。「もしこのようにあなたが行かないなら、あなたが私たちに誓わせた、あなたへのこの誓いから私たちは解かれます。」

2:18 見なさい、私たちはこの地に入って来ます。私たちをつり降ろした窓に、この赤いひもを結び付けておきなさい。あなたの父、母、兄弟、そして、あなたの一族全員をあなたの家に集めておきなさい。

2:19 あなたの家の戸口から外に出る者がいれば、その人の血はその人自身の頭上に降りかかり、私たちに罪はありません。しかし、あなたと一緒に家の中にいる者のだれにでも手が下されたなら、その人の血は私たちの頭上に降りかかります。

2:20 だが、もしあなたが私たちの、このことをだれかに告げるなら、あなたが私たちに誓わせた、あなたへの誓いから私たちは解かれます。」

2:21 彼女は「おことばどおりにしましょう」と言い、二人を送り出した。彼らは去り、彼女は窓に赤いひもを結んだ。

2:22 彼らはそこを去って山地の方へ行き、追っ手たちが引き揚げるまで、三日そこにと



どまった。追っ手たちは道中くまなく捜したが、彼らは見つからなかった。

2:23 二人は帰途についた。山地から下り、川を渡り、ヌンの子ヨシュアのところに来て、その身に起こったことをことごとく彼に話した。

2:24 彼らはヨシュアに言った。「【主】はあの地をことごとく私たちの手にお与えになりました。確かに、あの地の住民はみな、私たちのゆえに震えおののいています。」

ラハブはひもの赤い目印によって救われました。これはかつて神様がエジプトを打ったときに、イスラエルの家々が羊の血の赤い目印によって、救われたのと似ています。それはまさにイエス様の十字架の血によって、私たちが救われたことのひな型です。

イスラエルの勝利が決定していて「あの地の住民はみな私たちのゆえに震えおののいて」いるのと同じように、主の永遠の勝利は決定しており、サタンはおののいています。

救われていること、永遠のさばきを免れたこと、勝利者の側に入れられたことを感謝し安心しましょう。またラハブのように家族の救いを求めましょう。家族を「救いの家に集め」ましょう。時は迫っているかもしれません。いつまでもチャンスがあるかどうかは分からないのですから。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

